事務局長談話１

第 49 回衆議院議員総選挙　公示日にあたって

ご安全に！加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

10 月４日（月）に召集された臨時国会において、自民党の岸田新総裁が内閣総理大臣に指名され、所信表明演説、衆参両院の代表質問などを経て 14 日（木）に衆議院を解散しました。この解散により、本日、10 月 19 日（火）に第 49 回衆議院議員総選挙が公示され、31 日（日）の投開票日に向けた選挙戦が始まりました。

中央本部としては、「野党再編における新党に対する基幹労連の考え方」および「第 49 回衆議院議員総選挙の対応について」をふまえ、県本部・県センターと連携をはかり、本日現在、立憲民主党 89 名、国民民主党 11 名、無所属２名の計 102 名の候補者を推薦しています。

基幹労連が推薦する候補者は、連合推薦候補者であり、連合の「共有する理念（新党結党の政策理念）」および「重点政策」を推進すること、基幹労連の重点政策（①雇用と国際競争力を見据えたエネルギー政策の積極的な推進　②雇用の安定と労働者の保護に向けた法制度の改善　③「社会保障と税の一体改革」の積極的な推進）を推進することに合意し、政策協定を締結した候補者です。

働く者・生活者の視点に立った政治が行われるためには、政権与党に緊張感を与え続けることができる政党の存在が必要です。二大政党的政治体制の確立に向け、基幹労連 27 万２千組合員の総力を結集し、推薦候補者、とりわけ国政フォーラム議員をはじめとする重点候補者全員の勝利を果たし、来年７月の参議院議員選挙での「村田きょうこ」の必勝につながなくてはなりません。

中央本部が先頭に立ち最後まで力を尽くすことはもちろんのこと、すべての加盟組合・構成組織、県本部・県センターのご奮闘を心よりお願い申し上げます。ご安全に！

2021 年 10 月 19 日

日本基幹産業労働組合連合会
事務局長　津村　正男